

12月の野菜の見通し

令和3年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,717	やや 多い	11,658	63	103%	84	0	0.0%	千葉・神奈川産は目立った問題もなく生育順調。全体量はやや少なかった前年を上回り平年並みの見込み。数量充分な出回りから厳し販売が予想される。年末の数日間は需要高まり相場上昇の見込み。見通し単価は前年並みも平年比で2割下回る。
はくさい	16,416	やや 多い	15,730	30	150%	62	1	0.0%	茨城産は他品目への転作で作付減だがそれでも数量は潤沢となる見込みから販売苦戦が続く予想。全体量は多かった前年比微減も平年並み。見通し単価は前年を上回るも、平年を2割以上下回る。
キャベツ	13,235	やや 多い	13,721	63	103%	94	1	0.0%	愛知・千葉・神奈川産が生育順調。全体量は平年並みながら数量充分で安値基調。下旬は年末需要での相場上昇。見通し単価は前年並みも、平年を3割下回る。
ほうれん そう	1,607	やや 多い	1,436	423	99%	567	5	0.3%	茨城を中心に関東産は小松菜・みず菜からの転作で作付増加。全体量は前年・平年を上回る見込み。年末に向け相場上昇となる例年通りの流れ。見通し単価は前年並みも平年を2割下回る。
ねぎ	5,551	やや 多い	5,769	328	91%	317	94	1.7%	茨城産は作付増。関東各地、生育は順調で全体量はやや不作だった前年を上回る見込み。現状、数量充分だが気温低下により荷動きは出てこよう。また、年末に向け相場上昇となるのは例年通り。見通し単価は前年・平年をやや下回る。
きゅうり	4,505	平年 並み	4,172	346	110%	487	1	0.0%	宮崎産を中心に千葉・埼玉・高知産の出回り。生育は概ね順調で、全体量は前年・平年並みの見込み。年末には相場上昇か。見通し単価は前年を上回るも平年を2割下回る。

12月の野菜の見通し

令和3年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
トマト	4,830	平年 並み	4,801	342	105%	444	4	0.1%	熊本産は昼夜の温度差から裂果が多かったが12月は解消されて増量に向かう。ただ黄化葉巻病の多発が懸念され数量は平年を下回る予想。愛知・栃木産の生育は概ね順調。現状ではやや高値だが増量を控えて価格は下げ基調になる見込み。見通し単価は前年をやや上回るも平年を2割近く下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)